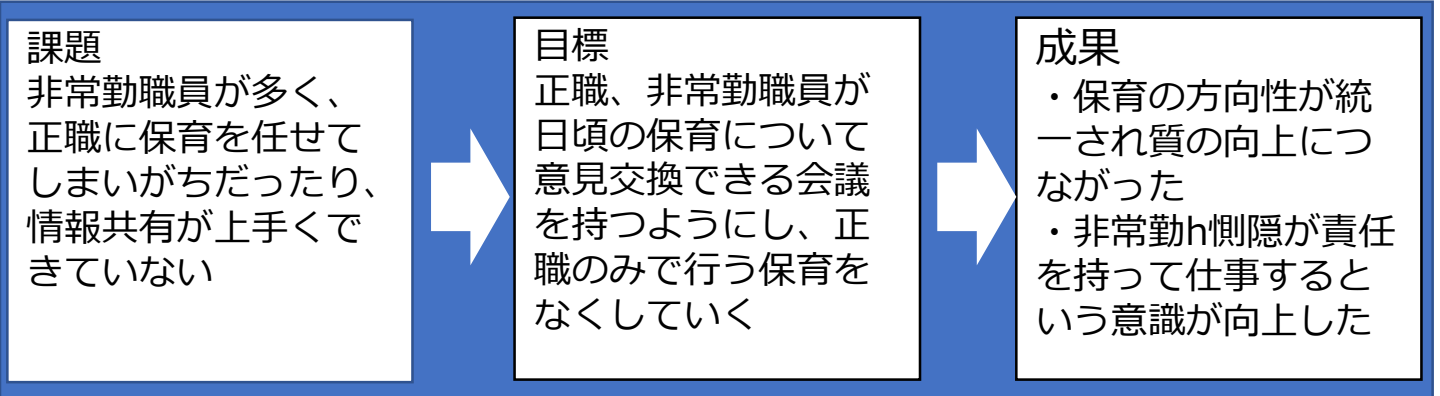


■サマリー



課題の意図・詳細説明

保育の経験のある非常勤職員が正職を立てようとし、自分の想いを伝えようとせず、保育を任せてしまうことがある。その為、正職のみの思いで保育をしてしまったり保育に迷いがあった際に十分な話し合いができずにいる。

目標の意図

全て職員が保育について意見しやすいような機会を作り、職員全体で保育をしていく意識を持つようにする

具体的な取り組み 12月

- ・日頃の保育であったり行事に向けての取り組みについて話し合いをする機会を持つことの必要性を職員に伝える。（主に2歳児クラス）
- ・休憩時間を利用し、雑談を混じえ食事をとりながら保育のことについて話をする「ランチミーティング」の提案をし、日程調整をする。（自分たちで行うよう指示しても、行動しない可能性がある為、主任が日時を決定し、知らせるようにする。）

具体的な取り組み 1月

- ・ランチミーティングの実施
クラスの担任が同じタイミングで休憩が取れるよう、他のクラスの職員にも協力してもらおう。
- ・主に気になる子供の対応、発表会の取り組みについて話し合いをしてもらう。

具体的な取り組み 2月

- ・ランチミーティングの実施
- ・会議をすることによってのメリットデメリットを実施した職員に調査
- ・メリット-
保育の方くお正の確認や様々なことにおいて共通認識が持てるようになり良かった。
休憩時間を利用しての話し合いは時間を有効に使うことができてよかった。
迷いがなくなり、安心して保育をすることができるようになった。
- ・デメリット-
特になし。
(主任の見解) 休憩時間を利用してのとっりくみなので、雑談を混じえてとはいえ、完全な休憩とは言えないのではないか